

国際音楽祭ヤング・プラハ

創立25周年記念演奏会 in Tokyo

2016年11月16日(木)
浜離宮朝日ホール

総勢16名と2組による記念演奏会

毎年9月に開催される国際音楽祭ヤング・プラハ。世界の若手音楽家の育成と若者の国際交流をテーマとした音楽祭であり、チェコと日本の実行委員会により運営されている。才能豊かな若手音楽家が世界中から集い、プラハをはじめとするチェコ各地で音楽の祭典を繰り広げる。また、日本とチェコの文化交流という面でも大きな役割を果たしているようだ。

今年の「第25回国際音楽祭 ヤング・プラハ」もチェコの各地を舞台に開催され、阪田さんと山根さんが出演機会をいただいた。また最終日のコンサートには、財団奨学生OBの宮田大さんが出演。昨年度は岡本侑也さんと桑原志織さんが出演するなど、江副記念財団奨学生のみならず縁の深い音楽祭である(今年度、宮田さん、阪田さんはヤング・プラハOBとして出演。山根さんは今年度の音楽家として選出され初出演)。

阪田さんは9月15日にプラハのポーランド大使館にてショパンとリストの曲をソロ演奏。山根さんは9月13日にプラハのベツレヘム礼拝堂にて、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番を。宮田大さんは、プラハのルドルフィヌム・ドヴォルジャークホールでのファイナルコンサートでの演奏であった。

国際音楽祭ヤング・プラハ
創立25周年記念演奏会
in Tokyo
日時: 2016 11/16 (木) 18:00開演 (17:30開場)
会場: 浜離宮朝日ホール 都営地下鉄丸の内線 浜離宮駅 徒歩5分 朝日新聞社 対面2階
全席自由席(税込): 一般 5,000円 学生 3,000円 【Pコード: 310568】
主催: 一般社団法人 国際音楽祭ヤング・プラハ

Johannes Grossa piano	Miroslav Sekera piano	Tomáš Hraněný violin	Tomáš Janda violin	Gen Ota conductor	Kazuhito Yamane piano
Yu Kurokawa violin	Hironori Nakamura violin	Tomáš Sakata piano	Ryosuke Saito violin	Yusuke Kikuchi piano	Shiori Kuwahara piano
Kazuhito Yamane piano	Yukihiro Yamashita piano	Hiroko Kihimura piano	Sawako Ota piano	TIKALI flute ensemble	Shinagawa Junior String Orchestra

本日の演奏会は、その東京公演。25周年記念ということで、出演者は16名と2組、盛りだくさんなプログラムが組まれている。桑原さんのソロ、黒川さん+海外からの方々での四重奏、阪田さんと山根さんのデュオ、阪田さん・黒川さん出演の五重奏などが予定されている。

本日の演奏会は、その東京公演。25周年記念ということで、出演者は16名と2組、盛りだくさんなプログラムが組まれている。桑原さんのソロ、黒川さん+海外からの方々での四重奏、阪田さんと山根さんのデュオ、阪田さん・黒川さん出演の五重奏などが予定されている。

会場の浜離宮朝日ホールは朝日新聞東京本社の新館2階にある室内楽ホール。「・・・とてもきれいに響いてくれるホールです。弾いているほうも気持ちがよく、大好きなホール」と桑原さん。

会場には、駐日チェコ大使ご夫妻をはじめ、多くの方々がお集まり。このヤング・プラハ音楽祭では恒例ともいえる着物姿の方々も。



写真ご提供:
国際音楽祭ヤングプラハ事務局
©Shohee Murakawa

多彩なプログラムを様々な組み合わせで



写真ご提供：国際音楽祭ヤングプラハ事務局
©Shohee Murakawa



まずはプログラム4番目に桑原さん登場。ソロ演奏によるショパン「バラード第4番」。11月上旬には在籍する藝大で、ショパン・コンクール審査員でもあるダン・タイ・ソン先生の個人レッスンをこの曲で受講するという貴重な機会があったそうだ。「…ショパンの曲の中で一番好きといっても過言ではありません。弾いていて、自然と自分も感動できる曲。苦勞するところもあるのですが、弾けば弾くほど好きになります」と桑原さん。一音一音をしっかりと優美にダイナミックに。音色の変化や色彩感もたっぷりに、細やかかつ大きく聴かせてくれた。

続いては、黒川さんがカルテットのメンバーとして登場。チェコ出身の作曲家マルティヌーの「オーボエとヴァイオリン、チェロ、ピアノのための四重奏曲」。「室内楽は大好き」という黒川さん、管楽器オーボエが入ることで、「(第1ヴァイオリンである)自分の音より高音の音がある」という、第1ヴァイオリン担当の際には、なかなかまれなシチュエーションを楽しみたいと話してくれている。なにやら不思議感が漂う始まりが、印象的な洒落た曲。4人の奏者の気負いのないナチュラルな演奏も心地よく響いた。

2回の休憩を挟んで、山根さんと阪田さん。ドヴォルジャークの「4つのロマンティックな小品」。「…個人的に昔から好きな曲です。特に1曲目が好きなんです」と山根さん。シンプルであるが、心に響く、とても優しくきれいな曲。山根さんのまた違う一面を聴かせてもらったような。阪田さんのピアノは、ひたすら美しくはかなく。『聴かせる』演奏を堪能させてくれた。



プログラムのラストを飾ったのは、黒川さんと阪田さん出演の五重奏。ドヴォルジャークのピアノ五重奏曲第1番(作品5)。ドヴォルジャークの若い時の作品で、2番の通称で知られる作品81に比べ、演奏される機会も少ないらしい。「…チェコの作曲家の、なかなか演奏されない作品を、海外の方々と交えて、日本で演奏するという面でも意味があると思います」と阪田さん。5人ともこの曲を演奏するのは初めてで、ゼロから意見を出し合って作り上げていったと教えてくれている。「…ちょうど室内楽に対し思いを深くしつつあるタイミングだったので、このメンバーで室内楽を弾けるのは本当にいい経験になると思います」と語ってくれたのは黒川さん。5名のメンバーで国際色も豊かに、特徴あるメロディーを美しく聴かせてくれた。

貴重な機会を、それぞれに活かして

終演の後日、4人に話を聞いた;

黒川さん:ー4重奏と5重奏;

「・・・海外の方々との共演は、音色も、音楽的な捉え方も違いがあると感じています。そうした違いがとても面白いです」「・・・素晴らしいメンバーとこのような経験ができて、とてもよかったと思っています。この経験を活かして、よりよい演奏ができるよう、練習を重ねていこうと思います」

阪田さん:ー山根さんとのデュオと5重奏;
「・・・リハーサルや楽屋で、他の出演者の意見を聞く機会があり、とても面白かったです。もちろん自分のイメージ観は確固としてあるのですが、それとはまた全然違う方向の意見であったり。自分以外の音楽家と共演する楽しさだと思います」「・・・お互いに意見を出し合いながら良い演奏へとつなげて行き、貴重な経験になりました」

山根さん:ー新境地を感じる選曲;
「・・・ドイツに留学して1年が経ち、多くのことを吸収しました。それが音楽に出始めたかなと実感するところがあります。実際、

自分の演奏もどんどん変化してきています。(16日の演奏も)これまでとはまた違った演奏のひとつだったと思いますし、自分でも自分の変化を毎回楽しんでます」

桑原さん:ーショパンをソロ演奏;
「・・・昨年プラハで演奏した際、お世話になった方々も来日され、再会を心から喜び合いました。浜離宮ホールで弾くのは2年ぶりでしたが、相変わらず素晴らしい響きのホールで、よい集中を保って、気持ちを込めてショパンを演奏することができました」

阪田さんは翌日、黒川さんは3日後、ヤング・プラハを支援する企業が主催するコンサートにも出演。阪田さん作曲の「オーボエとピアノのための無言歌」が、オーボエ奏者グロツさん(フランス)との共演で初披露されたそう。

黒川さん、阪田さん、山根さん、桑原さん、みなさん素敵な演奏でした。
また聴かせてください！



<演奏会概要>

◆出演

ヨハネス グロツ (オーボエ/フランス)

ミロスラフ セケラ (ピアノ/チェコ)

ロマン フラニチカ

(ヴァイオリン/チェコ)

トマーシュ ヤムニーク (チェロ/チェコ)

太田 弦 (指揮)

山根 一仁 (ヴァイオリン)

黒川 侑 (ヴァイオリン)

中村 洋乃理 (ヴィオラ)

阪田 知樹 (ピアノ)

周防 亮介 (ヴァイオリン)

菊地 裕介 (ピアノ)

桑原 志織 (ピアノ)

森田 義史 (ピアノ)

中村 友希乃 (ヴァイオリン)

岸本 萌乃加 (ヴァイオリン)

太田 紗和子 (ピアノ)

フルートアンサンブル ティカリ (チェコ)

品川ジュニアストリングオーケストラ

(指揮 太田 弦)



◆プログラム

I. クラーク: ジグ ザグ ブー (ティカリ)

J. フバイ: カルメン幻想曲 (岸本+太田)

E. ショーソン: 詩曲 作品25 (中村(友)+太田)

F. ショパン: バラード第4番 (桑原)

B. マルティヌー: オーボエ、ヴァイオリン、
チェロとピアノのための4重奏曲
(グロツ+黒川+ヤムニーク+セケラ)

W.A. モーツァルト:

ディベルティメント ニ長調 K.136

(品川ジュニアストリングオーケストラ)

A. ヴィヴァルディ: 四季より <冬>

(周防+品川ジュニアストリングオーケストラ)

B. マルティヌー: 2台のピアノのための
3つのチェコ舞曲 (菊地+森田)

A. ドヴォルジャーク: 4つのロマンティックな
小品作品75 (山根+阪田)

B. スメタナ: 演奏会用エチュード 嬰ト短調
作品17「海辺にて」(セケラ)

A. ドヴォルジャーク: ピアノ5重奏曲第1番
イ長調 作品5

(阪田+フラニチカ+黒川+中村(洋)+ヤムニーク)



国際音楽祭ヤング・プラハ

創立25周年記念演奏会

in Tokyo

11/16

日時: 2016.11/16 (水) 18:00開演 (17:30開場)

会場: 浜離宮朝日ホール 都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ 朝日新聞社 新館2階

全席自由席(税込): 一般5,000円 学生3,000円【Pコード: 310568】

※学生は国際音楽祭ヤング・プラハ事務局にメールでお申し込みください。

 Johannes Grosso / oboe	 Miroslav Sekera / piano	 Roman Hranica / violin	 Tomáš Jambík / violoncello	 Gen Ota / conductor	 Kazuhito Yamane / violin
 Yu Kurokawa / violin	 Hironori Nakamura / viola	 Tomoki Sakata / piano	 Ryosuke Suho / violin	 Yusuke Kikuchi / piano	 Shiori Kuwahara / piano
 Yoshifumi Morita / piano	 Yukino Nakamura / violin	 Honoka Kishimoto / violin	 Sawako Ota / piano	 TIKARI / flute ensemble	 Shinagawa Junior String Orchestra

A.ドヴォルザーク: スラヴ舞曲1組曲
A. Dvořák: Slavonic Dances Op. 46

I. クラーク: ジグ・サグ・スー
I. Clarke: Jig Sawg Swo

J. Hubay: カルメン幻想曲
J. Hubay: Carmen Fantasy

E. Chausson: 詩曲 Op. 25
E. Chausson: Poésies Op. 25

F. ショパン: バラード第4番
F. Chopin: Ballade No. 4

B. マルティヌ: ガーランド・ダンス・エロと悲しみのための4重奏
B. Martini: Garland Dances, Eroic and Mourning for 4

W.A. モーツァルト: ディヴェルティメント ニ長調 K.136
W.A. Mozart: Divertiment D dur K.136

A. ヴィヴァルディ: 四季 より <冬>
A. Vivaldi: Concerto No. 4 for Violin in Winter RV. 297 from The Four Seasons

B. ヴァルティマー: 2重奏のための3つのチェコ舞曲
B. Valtierra: 3 Czech Dances for 2 Violins

C. フォークナー: 4つのロマンティックな小品 作品75
C. Fokner: 4 Romantic Little Pieces Op. 75

B. スメタナ: 演奏会用エチュード 変奏短調 作品17 「海辺にて」
B. Smetana: Etude for Piano in minor mode Op. 17 No. 1 Na břehu mořském

F. ショパン: ポロネーズ 変イ長調 作品53
F. Chopin: Polonaise As dur op. 53

A. ドヴォルザーク: ピアノ5重奏曲第1番 イ長調 作品5
A. Dvořák: Quintet for Piano No. 1 As dur op. 5

後援: チェコ共和国大使館、CZECH CENTRE TOKYO
 助成: 一般社団法人東京倶楽部
 協賛: 株式会社千代田テクノル、株式会社車松製作所、相互音楽株式会社
 協力: 株式会社ヤマハミュージックジャパン、野中貿易株式会社、コニカミノルタ株式会社
 チケット取扱い: 山野楽器銀座本店 5階音楽フロア ☎ 03-5250-1062 / 関ヤマハミュージックリテイリング銀座店 4階管弦打楽器フロア ☎ 03-3572-3134
 チケットぴふ ☎ 0570-02-9909 <http://ticket.pia.jp/pla/event/ds?eventId=1643874> / 一般社団法人 国際音楽祭ヤング・プラハ事務局 email: info@youngpraha.jp

主催: 一般社団法人 国際音楽祭ヤング・プラハ

【コンサート・プログラム】

2016. 11. 16

mladá Praha
young prague
25

国際音楽祭ヤング・プラハ
創立25周年記念演奏会
in Tokyo



Embassy of the Czech Republic
in Tokyo



チェコセンター
ČESKÉ CENTRUM

森原志織

【コンサート・プログラム】



**国際音楽祭ヤング・ブラハ
創立 25 周年記念演奏会
inTokyo**

日 時：2016 年 11 月 16 日（水）18 時 00 分開演
November 16.2016(Wed) 6:00 pm

場 所：流麗宮朝日ホール
at HAMARIKYU ASAH Hall

主 催：一般社団法人国際音楽祭ヤング・ブラハ
presented by: International Music Festival "Young Prague" Association of Japan

後 援：チェコ共和国大使館、CZECH CENTRE TOKYO
special support by : Embassy of the Czech Republic in Tokyo, Czech Centre Tokyo

助 成：一般社団法人東京倶楽部
grant by : THE TOKYO CLUB

協 賛：株式会社千代田テクニル、株式会社希松製作所、相模興業株式会社
sponsored by :
CHIYODA TECHNOLOGICAL CORPORATION, SHIGEMATSU WORKS CO.,LTD, Sogomusai Co.Ltd.

協 力：株式会社ヤマハミュージックシャバン、野中貿易株式会社、コニカミノルタ株式会社、東京音楽大学
cooperation by :
Yamaha Music Japan Co.Ltd., NONAKA BOEKI Co.Ltd., KONICA MINOLTA, INC., Tokyo College of Music

グラフィックデザイン：谷井 毅
graphic design by : Hidaki Tani

株式会社 千代田テクニル **シゲマツ** **相互整美**
野中貿易株式会社
NONAKA BOEKI LTD.

~~~~~ ご挨拶 ~~~~~

本日は国際音楽祭ヤング・ブラハ 創立 25 周年記念演奏会 in Tokyo にお越しいただき、誠にありがとうございます。この In Tokyo コンサートは、毎年 9 月にチェコで開催されるヤング・ブラハ本祭をご支援下さいました日本の皆様にも、感謝の気持ちを伝えたく開催しております。今年は 25 周年の記念年にあたるため、今年のヤング・ブラハ出演者に加え、これまでヤング・ブラハに出演した OB と OG の方たちにも多数参加いただきました。彼らの素晴らしい演奏をお楽しみください。

本演奏会での収益金は、今後の国際音楽祭ヤング・ブラハに参加する若手演奏家たちの支援に使わせていただきます。

※本日の演奏会の終演時間は 21 時 30 分を予定しております。終演後、演奏者とのご面会をご希望される方は、会場を出られまして右手にございます中庭でお待ち下さい。中庭でのご面会となります。

国際音楽祭ヤング・プラハは今年で25回。この記念年を皆様とともに喜びに迎えることが出来、心から嬉しく思います。1991年、チェコドイトツの音楽家たちが集い、白鳥に何を伝えたいか、生々ゴッホに想いを込めた音楽を音楽の都プラハで演奏した。その国際音楽祭ヤング・プラハが始まりました。音楽は呼びかけに賛同し当初から参加しました。以来、四半世紀、毎年、世界中から才能豊かな「演奏家達」がプラハに集まり、宮殿や教会の修造後、そして音楽の殿堂ドルヴルグキールを舞台にすばらしい演奏を披露し、その体験を分かち合います。世界に引き継がれてきました。今年は記念年に相応しく8月28日から9月21日の一ヶ月、プラハとトクホで71回公演の音楽を聞きました。今年には品川ユニア音楽交流会、指揮者の大田雄二さん、ヴァイオリンの山根一さん、大工肇さん、日本酒造りの清水和久さん、The Rose Hienさんなどに出会えました。また記念年での、特別にヤング・プラハOBのチカロの宮田さん、ピアノの岡田知雄さんにも出演頂きました。

今回の25周年記念音楽祭は、在米でチェコ、フランスからそして日本から、これまでヤング・プラハに参加された演奏者16名、アンサンブル、音楽祭奨励の6の団体が出演して、この記念年を共に祝って下さいます。そして若手演奏者としてキリヤを植木、世界音楽地歩を歩み固めていらっしゃる方たちです。今年は初の演奏会にお慶びに25周年を迎えるヤング・プラハに世に音楽を伝えて、この音楽を支えて下さった方々との関係者の皆様、多くの支援を戴いている企業、団体、そして音楽関係の皆様に心からの敬意を表したいと思います。今後とも、皆様と一緒に、ヤング・プラハを刷新し、日本とチェコの文化交流の窓になるべく活動することをお楽しみに願っています。



一般社団法人国際音楽祭ヤング・ブラハ  
日本委員会 会長、ピアニスト 岩崎 淑  
Shuku Iwasaki  
President of the Japan Committee - pianist

親愛なる音楽の友のみなさま



チェコの音楽は日本で温かく受け入れられ、この地で高い評価をいただいています。大陸、そして海を渡り、我々の文化や伝統の足跡がもたらされたこと、これについては私が言うまでもないことです。

往年のマエストロたちの音楽は、誰もがリフレッシュでき、喉の渇きを満たすことができる飲み水の源泉のようです。源泉は砂漠の中央にも、上品なボトルの中にも、またはおぼろの館にも存在し得ます。それは希望を与え、生きを吹き込みます。こんなに遠く離れた国を遠く感じさせない、身近に感じられるだけの情懷を音楽はもたしているのです。

チェコの音楽が、チェコの国への興味をあなたの中に燃かせ、チェコ共和国の注目に値する様々なものを発見する手がかりになると確信しています。

Vážení přátelé hudby,

česká hudba je v Japonsku přijímána vše a dostává se jí zde uznání. Přes kontinenty a oceán přináší otisk naší kultury, tradic a hodnot. Promlouvá bez nutky překladu.

Hudba starých mistrů je jako veřejný zdroj pitné vody, ze kterého se každý může občerstvit a zahnat žízeň. Může být pramenem uprostřed pouště, v rafinované lahvi, může být součástí slavnostní tabule. Povzbuzuje a oživuje. Nabízí zprávu o zemi, která se najednou nezdá být tak vzdálená.

Verím, že česká hudba ve vás vzbudí zájem o zemi, ze které pochází, a pomůže Vám tak objevit řadu dalších pozoruhodných věcí z České republiky.

駐日チェコ共和国大使 トマーシュ・ドゥブ  
Tomáš Dub  
Ambassador of the Czech Republic to Japan

# 【コンサート・プログラム】

## Program

### ★ ウェルカムプレコンサート ホワイエにて ★

Welcome pre-concert at Foyer

A. ドヴォジャーク スラヴ舞曲より (ティカリ)

Antonín Dvořák from Slavonic dances

### ■ I. クラーク : シグザグズー (ティカリ)

Ian Clarke : Zig Zag Zoo  
(1964-)

### ■ J. フバイ : カルメン幻想曲 (岸本+太田(紗))

Jenő Hubay : Carmen Fantasy  
(1858-1937)

### ■ E. ショーソン : 詩曲 作品 25 (中村(友)+太田(紗))

Ernest Chausson : Poème, Op. 25,  
(1855-1899)

### ■ F. ショパン : バラード第4番 (桑原)

Fryderyk Chopin : Balade No.4  
(1810-1849)

### ■ B. マルティヌー : オーボエとヴァイオリン、チェロ、ピアノの爲の4重奏曲 (グロッソ+黒川+ヤムニーク+セケラ)

Bohuslav Martinů : Kvartet pro hoboj, housle, violoncello a klavír  
(1890-1959) Moderato poco allegro  
Adagio-Andante  
Poco allegro

~~~~~ pause ~~~~~

■ W.A. モーツァルト : ディベルティメント二長調 K.136 (太田弦+品川ジュニア弦楽オーケストラ)

Wolfgang Amadeus Mozart : Divertiment D dur K.136
(1756-1791) Allegro
Andante
Presto

■ A. ヴィヴァルディ : ヴァイオリン協奏曲集 四季 より <冬> (周防+太田弦+品川ジュニア弦楽オーケストラ)

Antonio Vivaldi : Concerto No.4 f moll <Winter> RV.297 from The Four Seasons
(1678-1741) Allegro non molto
Largo
Allegro

■ A. マルティヌー : 2台のピアノのための3つのチェコ舞曲 (菊地+森田)

Bohuslav Martinů : 3 české tance pro dva klavíry
(1890-1959) Allegro
Andante moderato
Allegretto non troppo

~~~~~ pause ~~~~~

### ■ A. ドヴォジャーク : 4つのロマンティックな小品 作品 75 (山根+阪田)

Antonín Dvořák : Romantické kusy op.75  
(1841-1904) Allegro moderato  
Allegro maestoso  
Allegro appassionato  
Larghetto

### ■ B. スメタナ : 演奏会用エチュード 嬰ト短調 作品 17 「海辺にて」 (セケラ)

Bedřich Smetana : Koncertní Etuda gis moll op.17 「Na břehu mořském」  
(1824-1884)

### ■ A. ドヴォジャーク : ピアノ5重奏曲第1番 イ長調 作品 5 (阪田+フラニチカ+黒川+中村(洋)+ヤムニーク)

Antonín Dvořák : Klavírní kvintet No.1 A dur op.5  
(1841-1904) Allegro ma non troppo  
Andante sostenuto  
Finale Allegro con brio

# 【コンサート・プログラム】

## PERFORMERS

mladá praha  
young  
travels  
25

### ヨハネス・グロツン (オーボエ) / Johannes Grosso (oboe)

フランクフルトオペラ管弦楽団首席オーボエ奏者。スイスロマン管弦楽団首席奏者の試用期間でもある。これまでにゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団団員を務めた。リオン国立高等音楽院 Jean-Louis Capezalli と Jérôme Guichard のクラスを一等賞で卒業。アーティスト賞格を獲得。クロ・ヴァージョ・ファンデーションより「才能あるヤングミュージシャン」として奨学金を受ける。2014年ブラハの春国際コンクールにて優勝。それ以前にすでにフランスオーボエ協会コンクール、第5回国際 Giuseppe Tomassini コンクール、アジアダブルリード協会コンクールにおいて優勝。国際リードリサイエティによる Gillis-Fox コンクールにおいて第2位。

Schleswig-Holstein Festival Orchestra, the Prague Chamber Orchestra, the Czech Radio Orchestra 他数々のオーケストラと共演。パリの salle Gaveau やブラハ・ドヴォジャークホールなどでソロistとして演奏する。ヨーロッパ室内管弦楽団、ブダペスト祝賀管弦楽団、ゲヴァントハウス管弦楽団などに定期的に客演首席奏者として招かれている。



### ロマン・フラニチカ (ヴァイオリン) / Roman Hraníčka (violin)

1983年ブラハ生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、9歳からブラハ芸術アカデミー修士課程卒業までバズデラ教授に師事。ロンドン The Guildhall School 大学院卒業。

9歳の時、トスーク指揮でオーケストラ初共演。その後、ピエロフラーヴェック指揮、PKF などと共演。14歳の時、ヴィニアフスキー・リビンバイオリン国際コンクール特別奨励賞受賞。

仙台国際音楽コンクールヨーロッパ選入賞。仙台市各所でリサイタル。

16歳 - 17歳米国イヴァン・ガラミアン音楽学校奨学生。

ヤン・ネルダ高校時代、弦楽四重奏団を結成。チェコ放送国際コンクール、ベートーベン国際音楽コンクールともに2位。2014年より PKF ブラハ・フィルハーモニー正団員。アマテウザ四重奏団メンバーとして、2012年、16年ブラハの春国際音楽祭出演。2015年から、Quasi ビアンノトリオメンバー。ヴェローナ国際室内楽コンクール本選出場。2016年ウィーン ISA ビアンノ室内部門大賞、室内楽奨学生としてパリで研鑽。



### トマーシュ・ヤムニーク (チェロ) / Tomáš Jamník (violin)

2006年ブラハの春国際コンクールにて優勝。2012年 Pierre Fournier Award コンクールのファイナリスト。2007年に、I. カハネク (ピアノ) と共にスプリアン社で収録したデビューCD は過去十年最高のチェコデビューと評価される。最新作CD として T. ネットビル指揮ブラハ放送交響楽団との共演で A. ドヴォジャーク・チェロ協奏曲やチェロのための作品全巻を収録した。ソロistとしてチェコ、イスラエル、ドイツ、スペイン、日本、韓国、アメリカの各国にて J. フルージャ、M. イヴァノヴィッチ、E. インバラ、P. ヴロンスキ、L. スヴァーロフスキー、P. アルトリヒルその他の指揮者が率いる交響楽団と共演している。2016年に J. フルージャ指揮者が率いるフィルハーモニー管弦楽団との共演でシューマンのチェロ協奏曲を演奏しイギリスでデビューした。ドヴォジャーク・トリオのメンバー。室内音楽において M. コジエナー、J. シュバチェック、パヴェル・ハースカルテットと共演している。今シーズン2016/17 には再度日本と韓国へ招かれチェコ及び海外のオーケストラとの共演でショスタコヴィッチの協奏曲第1番、チャイコフスキーのロココ風交響曲とマルティナーの協奏曲第2番を演奏する予定。

ミルコ・シュカンパとマルティン・シュカンパ各氏の元でチェロを始め、ブラハ芸術大学にて J. フロロ氏に師事した後、ベルリンにて J.P. マインツ氏に師事。シーズン2015/16 から、ドイツの Villa Musica 基金との共同活動で室内音楽の分野における若手演奏者の育成に携わり室内音楽アカデミーの芸術監督を務める。



## PERFORMERS

mladá praha  
young  
travels  
25

### ミロスラフ・セケラ (ピアノ) / Miroslav Sekera (piano)

3歳の時、著名な音楽家ズデナ・ヤンシュロヴァー氏が彼の非凡な才能を見出し音楽教育を受け持つ。12歳までにピアノとヴァイオリン両楽器において基礎教育課程を終了。フォルマン監督による映画「アマデウス」にローマ法王の前でヴァイオリンとピアノ両方を奏でる天才モーツァルトの少年役として出演。ブラハ・ヴォルシルスカー音楽学校を卒業後、ピアノ科の学生としてブラハ音楽院に入学。E. ボグニオヴァー氏と M. バリー氏に師事。ブラハ芸術大学にて M. ランゲル氏に師事。1999年に卒業。マリナーンスキー・ラーゼニエのショパンコンクール、ブラハ芸術大学コンクール (ヤマハ奨学金付き)、オーストリア・ボルトショウの J. プラームス国際コンクールにて優勝。チェコ音楽基金の支援を受け、マルチニクのために J. プラームス、D. スカルパッティと M. モシコフスキーの作品を CD に収録。これらの成功からウィーンの Wien Konzerthaus, Musikverein, ワシントンの The Kennedy Center など、世界各国の有名舞台でソロistまたは室内奏者として活躍。J. シュバチェック (ヴァイオリン)、D. ベツコヴァー (メゾソプラノ)、元ベルリン・フィルハーモニーの首席ホルン奏者で世界的に評価される R. バボラークと室内共演している。また、FOK 交響楽団、ブラハ・フィルハーモニー等にゲスト演奏者として共演。チェコ放送局でも定期的に出演している。



### 太田 弦 (指揮) / Gen Ota (conductor)

1994年北海道札幌市に生まれる。  
幼少の頃から、チェロ、ピアノを学ぶ。  
東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。  
学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。  
現在同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程に在籍。  
2015年、第17回東京国際音楽コンクール (指揮) で2位ならびに聴衆賞を受賞。  
これまでに指揮を尾高忠明、高岡健之両氏、作曲を二橋寛一氏に師事。  
山田和樹、バーヴォ・ヤルヴィ、ダグラス・ボストック、ペーター・チャハ、ジョルト・ナジ、ラスロ・ティハニーの各氏のレッスンを受講する。



### 太田 紗和子 (ピアノ) / Sawako Ota (piano)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽科卒業。同大学院修了。  
1996年、露島国際音楽祭にて特別奨励賞受賞。  
97年、ヴィオッティ・ヴァルセリア国際コンクールにて最優秀最年少賞受賞。97～00年、イタリア・シエナキエアー音楽院マスタークラスにてディプロマ受賞、スカシップを受け、ファイナルコンサートに出演。第13回定塚ベガ音楽コンクール入賞。  
2001年、国際音楽祭ヤング・ブラハ (チェコ) にソロistとして招待され、ピアノ協奏曲を演奏。  
これまでに、ブルガリア国立室内オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラと共演。また、在学中よりリサイタル、FM、音楽祭等で国内外の演奏家と多数共演。現在海上自衛隊東京音楽隊に所属。



# 【コンサート・プログラム】

## PERFORMERS

mladá Praha  
young  
regue  
25

### 菊地 裕介 (ピアノ) / Yusuke Kikuchi (piano)

1977 年東京生まれ。1994 年日本音楽コンクール第 2 位。高校卒業と同時に渡仏し、ローム・ミュージックファンデーションより助成を受け、パリ国立高等音楽院高等課程を経てピアノ研究科を修了したほか、5 つの一等賞を得てピアノの他に歌曲伴奏、作曲技法の高等課程を修了。また文化庁芸術家在外研修制度の助成を受け、ハノーファー音楽大学に学びドイツ国家演奏家資格を取得。皆川紀子、加藤伸佳、ジャック・クルヴィエ、アリ・エヴァルディの各氏に師事。マリナ・カナルス、ボルト、ブーランクコンクール優勝。またジュネーブ、ベートーヴェンなど、数多くの国際コンクールに入賞する。東京藝術大学の講師に招かれ、2007 年に帰国後「芸術総合メシアン年鑑 100 年プロジェクト・幼チイエスに決く 30 の夜など」にアーメンの幻楽全曲演奏「バビロンの異邦者ヴァイオリンのためのリリシティ第 2 巻 ピアノ・独奏協奏曲」など精力的な活動を展開。ベートーヴェンピアノソナタ全 32 曲、ラヴェルピアノソノロ品全集（オクターヴィア・レコード TRITON）など録音も多数。

国内では東京交響楽団、東京都交響楽団、東フィル、東京シティ・フィル、仙台フィル、大阪シンフォニーなどと共演。室内楽では清水和治、永野島樹とのピアノデュオやオーボエの辻近モリス・ブルク、若手ではフルートの黒尾知紀との共演など、いずれも好評を博している。演奏活動の傍ら、現在は東京音楽大学専任講師、名古屋音楽大学客員准教授、秋田吉台ミュージックアカデミーなど、各地にてセミナー、マスタークラスの講師、及びコンサート審査等を務める。



### 岸本 萌乃加 (ヴァイオリン) / Honoka Kishimoto (violin)

岡山県出身。1994 年生まれ。「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」メンバーに選抜され第 2 期、3 期に参加。日本演奏家コンクール 高校の部 全国大会第 1 位。全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 高校の部 大阪大会第 1 位。日本クラシック音楽コンクール バイオリンの部 高校の部 第 1 位グランプリ。第 2 回エンジェルヴァイオリンコンクール 第 3 位及び聴衆賞。東京音楽コンクール 弦楽部門第 1 位。横浜国際音楽コンクール 弦楽部門高校の部 第 1 位及びジュエリー・ブルー賞ならびにグランプリ。ヤングブラ/国際音楽祭の日本代表として招聘されコンチエルトを演奏。またブラジル各地でヴァリサイルを開催する。またニュージーランドへ視察大使として派遣され、クライストチャーチでリサイタルを開催。円光寺音楽祭、梅田蘭明、宮本文江、山下史一、高岡健彦氏など名だたる指揮者とともに、各地オーケストラ、読大フィルハーモニーオーケストラ、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団とコンチエルトを多数協演。また学校に於いて様々なアンサンブル活動やソロリサイタルなどを行っている。公益財団法人ロームミュージックファンデーション 2012、2013 年度奨学生。公益財団法人 青山財団 2015 年度奨学生。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学を首席で卒業するとともにアカンサ音楽賞を受賞。現在東京芸術大学大学院一年在学中。現在、澤村楓、ジェラルド・ブーレ、長原幸太氏に師事。



### 黒川 侑 (ヴァイオリン) / Yu Kurokawa (violin)

1990 年京都市生まれ。5 才よりヴァイオリンを始める。2001 年第 55 回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国大会第 1 位。2002 年第 10 回クロースター・シェンターレ国際ヴァイオリンコンクール第 2 位。最優秀パッサガ。2006 年第 75 回日本音楽コンクール第 1 位。若谷賞（聴衆賞）他 4 つの特別賞を受賞。15 年第 34 回ドルフォ・リビッツァー国際ヴァイオリンコンクールにて最も芸術性の高い演奏者に贈られる Anna Piculin 特別賞。2016 年第 6 回仙台国際音楽コンクールにて聴衆賞を受賞。これまでにリサイタル、国内外の著名なオーケストラとの共演など多くの演奏会に出演。2014 年にはイス・ロ・ロマン管弦楽団と、2016 年 7 月にはスペイン国立管弦楽団との共演を果たした。小島秀夫、工藤千博、P. ウェルニコフ、津原晋子、嵯米ゆず子、藤原康雄、S. ルセアの各氏に師事。現在ブリュッセルを拠点にしながら桐朋学園大学院大学にも特待生として籍を置いて研鑽を積み、着実に演奏活動を続けている。東京都芸術文化奨励賞、第 3 回岡山芸術文化賞グランプリ、京都府文化賞奨励賞、京都市芸術新人賞、第 23 回光音楽賞受賞。



## PERFORMERS

mladá Praha  
young  
regue  
25

### 桑原 志織 (ピアノ) / Shiori Kuwahara (piano)

1995 年東京生まれ。2015 年第 24 回国際音楽祭ヤング・プラハに参加。2014 年第 83 回日本音楽コンクール第 2 位。若谷賞（聴衆賞）。2016 年第 62 回マリア・カナルス・パルセレナ国際音楽コンクール第 2 位。最年少ノイナリナト賞。東京藝術大学附属高校在学中に、PTNA 特別賞・聴衆賞、東京音楽コンクール第 2 位。ルーマニア国際音楽コンクール第 1 位。オーディエンス賞、福田晴子賞聴衆賞等を受賞し、活躍の場を広げる。2014 年度ヤマハ音楽奨励賞。これまでに、新日本フィル、東京交響楽団、東京シティ・フィル、東京フィル、北チェコ・テプリツェフィル等と共演。各地でリサイタルの他、ウィーン、ホノルル、ソウル等の演奏会や音楽祭に招かれ好評を博す。東京藝術大学 3 年在学中。伊藤忠氏に師事。江副記念財団第 44 回奨学生。東京藝術大学宗次郎二待奨学生第 1 期生。



### 山根 一仁 (ヴァイオリン) / Kazuhiro Yamane (violin)

1995 年生まれ。2010 年第 79 回日本音楽コンクール第 1 位。中学生の 1 位は 26 年ぶりの快挙。圧倒的な演奏で日本の音楽界に衝撃的なデビューを果たし、以後 NHK 交響楽団をはじめ、日本国内の主要なオーケストラと共演を重ね、2016 年には来日のバーミンガム市響とチャイコフスキヴァイオリン協奏曲を共演するなど活躍の場を広げている。また、高校在学中より、ベルリン・フィル五重奏団、M=ヴェンゲローフとの共演、弦の演奏会で定評のあるトップ・ホール（東京）「エスポワール・シリーズ」に最年少で抜擢されるなど注目を集め、2015-16 年東京フィル・コンサート、NHK「からら」クラシック、TV 朝日「題名のない音楽会」等多数出演している。2011 年横浜文化芸術奨励賞最年少受賞。2012 年岩谷時子財団「Foundation for Youth 賞」、2015 年度青山音楽賞新人賞、第 26 回光音楽賞受賞。第 43 回江副記念財団奨学生。現在ミューン音楽演劇大学に在籍。クリストフ・ボッペン氏のもとに研鑽を積む。



### 阪田 知樹 (ピアノ) / Tomoki Sakata (piano)

2016 年第 14 回フランク・リスト国際ピアノコンクール（ブダペスト）にて審査員満場一致の優勝。併せて 6 つの特別賞。東京藝術大学在学中の 19 歳にて、第 14 回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて最年少入賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校在学中に、巨匠イヴァン・モラヴェツ氏より高い評価を受けイヴァン・モラヴェツ賞、第 35 回ピティナ・ピアノコンペティション特設グランプリ、及び聴衆賞等 5 つの特別賞。ハノーファー音楽演劇メディア大学首席卒業。現在、同大学修士課程に在籍。グラディミール・ヴァーレック、レナード・スラットキン他諸氏指揮のもと、チェコ国立交響楽団、フォートワース交響楽団他と共演。第 22 回、25 回国際音楽祭ヤング・プラハ、第 39 回ヤナーチャーク国際音楽祭等、国際音楽祭への出演多数。2015 年デビュー CD をリリース。西川秀人、渡辺健二、バウル・バドゥラスコダ、アリー・ヴァルディの各氏に師事。



# 【コンサート・プログラム】

## PERFORMERS

mladá Praha  
young  
25  
prague

### 中村 洋乃理 (ヴィオラ) / Hironori Nakamura (viola)

岡山県笠岡市出身。愛知県立芸術大学を経て、東京藝術大学大学院研究修士課程修了。  
第8回日本演奏家コンクール最高位受賞。2007年東京フィルハーモニー交響楽団にファシニエラ  
(次席)奏者として入団。2011年国際音楽祭ヤングプラハに招かれ、ヤングプラハフェスティバルカル  
テットとしてチェコ各地にて演奏。  
2014年1月に東京フィルを退団し、2月よりNHK交響楽団の契約団員となる。また、ヴィオラカル  
テット Alto de campagne を結成し、地元岡山を拠点、各地で演奏会を企画している。2015年2月より  
NHK交響楽団団員となる。2016年4月よりNHK交響楽団ヴィオラ首席奏者に就任。  
これまででヴィオラを江島幹雄、宮武由紀、川崎和重の各氏に師事。



### 中村 友希乃 (ヴァイオリン) / Yukino Nakamura (violin)

第16回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第1位。第64回全日本学生音楽コンクール全国大  
会バイオリン部門中学校の部第3位及び横浜市民賞受賞。  
ザルツブルク夏季音楽講習会にてオシム氏の推薦によるヴェルクシュタットコンサート、アカデミー  
コンサートに出演。第14回クロースターシェーンタール国際バイオリンコンクール(ドイツ)にて第1  
位及びバツバ賞受賞。第22回ヤングプラハ国際音楽祭に招待されプラハでのオープニングコンサート、  
スメタナ音楽祭等に出演。  
第27回東京都芸術音楽部門にて毎日新聞社賞及び聴衆賞。第36回韓国国際音楽祭にて韓国音楽祭賞。  
第8回ミュージックセミナーinみやぎにて奨励賞受賞。  
日本センチュリー交響楽団と大塚シシフォニーホールにてチャイコフスキーの「バイオリンコンチェルト  
」を共演。2016年度からヤマハ音楽奨励生奨励生。石川誠子・小栗まち絵・玉井菜保各氏に師事。私立相  
模高等学校音楽科特別奨学生を経て、現在東京芸術大学3年に在学中。



### 周防 亮介 (ヴァイオリン) / Ryosuke Suho (violin)

7歳よりヴァイオリンを始め、12歳で京都市交響楽団と共演。  
15歳で(国際音楽祭ヤング・プラハ)より招聘され、チェコにてプラハ室内管弦楽団と共演しヨーロ  
パデビューを果たした後、パリにてパリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランス放送フィルハーモ  
ニー管弦楽団、パリ国立歌劇場管弦楽団の演奏家と共演し活躍を呼んだ。  
2014年にはサンクトペテルブルクの(音楽の家)よりアジア人として初めて招聘され国立サンクトペ  
テルブルクアカデミーオーケストラと共演し大成功を収めた。その他日本の主要オーケストラとの共演  
のみならず海外でも高く評価をされている。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサルト・  
ノヴァ」などにも出演。  
2009年クロースター・シェーンタール国際ヴァイオリンコンクール第1位及びヴィルトゥオーゾ賞、  
EMCY賞。2010年ダヴィッド・オイストラフ国際ヴァイオリンコンクールで最高位及びスポンサー特  
別賞。2011年東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞。2012年日本音楽コンクール第2位及び聴衆賞。  
2013年IMA音楽賞。2014年度出光音楽賞。2015年度青山音楽賞新人賞受賞。2016年10月ヘンリク・ヴィエニャフスキ国際ヴァ  
イオリンコンクール入賞及び特別賞。現在、東京芸術大学に特別特待奨学生として在学中。



## PERFORMERS

mladá Praha  
young  
25  
prague

### 森田 義史 (ピアノ) / Yoshifumi Morita (piano)

埼玉県所沢市出身。3歳より「スズキ・メソッド」にて音楽に触れ、7歳の頃より日本を代表するピ  
アニスト岩崎道氏のもと、ピアニストとしての道を志す。桐朋学園大学付属高等学校、同大学音楽学部を  
卒業。大学卒業後、東京文化会館にてデビューリサイタルを行う。  
2006年より財団法人ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生としてイタリア・ミラノに渡り  
国立ヴェルディ音楽院に入塾。名教授 Vincenzo Balzani 氏に師事し、「Città di Cantù」(Valse-Musica)  
2つの権威ある国際ピアノコンクールにて優勝するなど輝かしい実績を積み、音楽院最高のピアニスト  
としてイタリア全土の様々な演奏会で活躍した。  
現在はミラノと日本に拠点を置き、師である Balzani 氏の正式な助手としてコンサートやオーディショ  
ンの企画、講師としてマスタークラスにも招聘されるなど演奏活動だけではなく教育の分野にも力を注  
いでいる。イタリアに於いて開催されている「Città di Cantù」、「Pianotalents」、「Tadini」国際ピ  
アノコンクール審査員。



### フルートアンサンブル <ティカリ> / Flétnový soubor TIKARI Flutes

フルートアンサンブル<ティカリ>は2013年9月にプラハ9区チャコヴィツェ  
の芸術小学校<マリエ・ボドワロヴァ>の学生を中心に創立された。現在  
メンバーは10歳から23歳の19名で、5パートに分かれるコンサートフルー  
トに加え、アルトフルート、バスフルートの編成になっている。  
指揮はアンドレア・ロシーコヴァー、ヤナ・カサノヴァ先生。  
2015年にはベルギー Neerpelt で行われた長い伝統を持つ音楽祭<第63回ヨ  
ーロッパ音楽フェスティバル>のコンクールカテゴリーにおいて1位を獲得した。



### 品川ジュニアストリングオーケストラ / The Shinagawa Junior String Orchestra

音楽を通して人間を育てることを掲げた放駒木旗一のスズキ・メソ  
ッドは今や世界55ヶ国に広まり、40万人以上が学んでいます。  
品川ストリングオーケストラは、「自分の個性を発揮しながら仲間と協力  
して一つの音楽を作り上げる楽しさ、素晴らしい身体感できるアンサン  
ブル教育」を目指し、60年程前にスズキ・メソッドの東京品川支部で発  
足しました。メンバーは小学生から大学生までの生徒からなっています。  
日本国内では弦楽の曲を中心に毎年コンサートを開き、日本を代表する  
世界的に有名な演奏家とも共演してきました。  
ヨーロッパ公演では、感受性豊かな年頃の子供たちが、日頃学んでいる  
音楽の故郷であるヨーロッパの風景、文化、歴史、人々にふれ感じ、  
また自国の音楽を演奏することにより、音楽を通して文化交流に役立  
てばという願いで毎回外務省や大使館のご後援をいただきまして、コンサ  
ートツアーを行い、ご好評をいただいております。

